

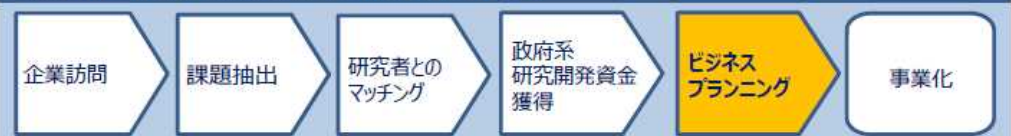
銀行名	阿波銀行
タイトル	徳島大学と連携し、地域企業の研究開発ニーズにお応えしています
取組み内容	<p>< 経緯 ></p> <p>1．連携協力協定締結（平成 25 年 2 月 25 日） 当行と徳島大学のそれぞれの保有する研究技術、情報およびノウハウを活用して、地域の産学連携を推進し、地域経済の発展と産業の振興に寄与する目的で、連携協定を締結しました。</p> <p>2．個別企業訪問 取引先企業からニーズが出てくるのを待つだけでは支援の対象が広がらないため、徳島大学との定期協議で、ものづくり企業への個別訪問を提案。平成 25 年 10 月に着任した産学連携担当教授（四国 TLO の役員を兼任）と当行担当者が、11 月から企業訪問を開始しました。</p> <p>< 内容 ></p> <p>1．概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行の「企業ネットワーク」「ビジネスプランニング力」「認定支援機関としての知見」、徳島大学の「技術課題抽出・課題解決力」「政府系研究開発資金獲得能力」と、両機関の得意分野を活かして、補完関係を構築しています。 ・企業訪問から新規事業の事業化まで、連携してサポートを行っています。 <div data-bbox="459 1167 1449 1592" data-label="Diagram"> <p>課題解決型の産学連携プロセスにおける両機関の補完関係</p> </div> <p>2．公的助成金の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業のお客さまにとって、自己資金での研究委託等は敷居が高い面もあり、国の「ものづくり補助金」等の活用を推進しています。 ・補助金受給が目的の場合も、事業内容によっては徳島大学に協力を要請しており結果的に徳島大学と企業の共同研究に進む場合もあります。

3. ビジネス開発会議

- ・「研究開発」と「ビジネス構築」の両面から、地域の中小企業をサポートしています。
- ・開発企業、徳島大学（研究者、弁理士、産学連携担当）、当行（中小企業診断士）、新事業のユーザーになると考えられる企業から構成される「ビジネス開発会議」を実施しています。
- ・中小企業にとってハードルの高い「知的財産の取得」「ビジネスプラン作成」「販路開拓」等について、専門家の助言により解決案を提示することで、事業化の加速を促しています。



地域中小・中堅企業の課題解決型の産学連携プロセス



< 成果 >

1. 共同研究

- ・徳島大学・四国 TL0 が 74 社と面談し、進行中の案件は 42 件となっています。
- ・企業と大学の共同研究が進行中または確定している先は 12 社となっています。

平成 27 年 6 月現在

2. 地方創生のモデル化

- ・地方大学から地域の中小企業等への技術移転においては、実績をあげている地域が少ないという現状のなか、当行と徳島大学の産学連携モデルは過去に例を見ない実績を挙げています。
- ・産学連携の新しいモデルであり、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で謳われている「ローカルイノベーション」をもたらすための有力な手法として、中央官庁・マスコミからも注目されています。

銀行名	阿波銀行
タイトル	「事業性評価」に係る取組みを推進しています
取組み内容	<p>< 経緯 ></p> <p>当行では、経営方針として「地域への貢献」を掲げるなか、伝統的営業方針である「永代取引の追求」を中期経営計画の基本戦略とし、地域におけるリーディングバンクとしての使命を果たし、地域経済・社会の発展に貢献する方針を掲げています。</p> <p>当行では、「永代取引」を地域密着型金融と同義と位置づけており、目先の短期的な利益を追うのではなく、お客さまと世代を超えた息の永い取引を行うことにより、取引先企業における企業価値の向上による持続的成長を通じて地域経済の活性化を図り、地域とともに自らも発展していくことを目指しています。</p> <p>また、地方創生に向け、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地方自治体からの要請等を踏まえ、積極的に参画し協力を行うとともに、産官学金労の連携を強化し、地域における金融機能の高度化に向けた取組みを行っております。そのためにも、事業性評価や目利き力、コンサルティング能力の一層のレベルアップを図ることで、中小企業取引の更なる強化につなげるとともに、創業・成長・再生支援を通じ、金融機関として本業による地域貢献・地域経済の活性化に努めています。</p> <p>そのような中、当行では目利き力の定義を「経営者の思い、考え、戦略をヒアリングする力」および「適切な事業性評価により、企業の将来性を見極め、課題解決に導く力」と定め、以下の取組みを行っております。</p> <p>< 内容 ></p> <p>1. 「企業実態調査表」の新設</p> <p>事業性評価を通じた企業実態把握の一層の強化を図るため、平成 27 年 1 月から「企業実態調査表」を新設し、徳島県内においては 30 百万円以上の貸増案件について、県外においては新規先および 50 百万円以上の貸増案件について作成を徹底しており、記載内容を支店長が確認する仕組みとしています。</p> <p>「企業実態調査表」は、事業内容・市場・競争状況・販路・技術力について担当者の取引先訪問時に本業の実態把握に関して聞き取りした事項を記載し、企業の強み・弱み等、総合力について支店長が総合判断を行う書式となっており、案件審査において同表を活用し、企業の事業性評価に基づく実態把握の強化に努めるとともに、審査部による記載内容に係る営業店指導や好事例等の発出のほか、現場の営業担当者に対して営業店上席者等からの OJT や審査部留学による指導等により、営業店の目線あわせとレベルアップを図っています。企業実態調査表に基づき経営者と共有した経営課題について、ニーズ・チェックリストを作成し、営業店と営業推進部が連携してソリューションを提供するなど、課題解決に向け、成長支援を行っております。</p> <p>2. ABL の推進</p> <p>当行は、商流把握による実態把握の強化に向けて、地方銀行の中でも先行して一般担保化に向けた要件整備を行うなど、ABL の推進に注力しており、毎月の売掛金・在庫の発生・回収状況等をモニタリングするなかで、事業性評価につなげてい</p>

ます。

事業性評価を通じた経営改善支援については、審査部経営支援課によるビジネスモデル俯瞰図、SWOT分析等の作成支援を行うとともに、特に優先的に経営改善支援を行う先として経営改善支援取組先を223社選定し、地域経済への影響度が高い企業に対して、抜本再生支援としてDDSや再生支援ファンドの活用を行うなど、営業店や外部専門家等との連携を強化して再生支援に取り組んでいます。

3．阿波銀コンサルティング(株)を設立

平成26年7月に、当行グループ会社として阿波銀コンサルティング(株)を新設しました。深度ある財務DDと事業DDを通してこれまで以上に事業性評価・実態把握力を向上させ、ノウハウの構築と行内での共有を進めています。

4．融資商品の充実



平成27年2月に、条件変更先等の経営改善支援を行っている先に対し、経営改善を促進し再成長に資する新規融資を行えるよう、「あわぎん企業育成ファンド(グローイングアップ)」の商品内容を改定しました。事業性評価による将来性の検証を行い、案件の掘り所を明確化したうえで、経営改善支援先に対する出口戦略商品として活用しており、平成27年5月末現在で22件924百万円の取組実績となっています。

銀行名	阿波銀行
タイトル	「あわぎんアグリファンド」を活用し、農林水産業の成長を支援しています
取組み内容	<p>< 経緯 ></p> <p>1. 「あわぎんアグリファンド」設立（平成 25 年 11 月） 当行と(株)農林漁業成長産業化支援機構、阿波銀ビジネスサービス(株)が出資し、平成 25 年 11 月に『あわぎんアグリファンド(正式名称：あわぎん 6 次産業化投資事業有限責任組合)』を設立しました。</p> <p>2. 県内第 1 号案件への出資 第 1 号案件として、(株)はらだ牧場に対する 50 百万円の出資を決定し、平成 26 年 12 月に出資しました。</p> <p>< 内容 ></p> <p>1. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)はらだ牧場は、徳島県内有数の養豚事業者である原田養豚場(代表 原田茂氏)らが設立し、自ら生産した豚肉を活用した飲食店を県内外で運営する会社(6 次産業化事業体)です。 ・徳島県のブランド豚「阿波ポーク()」を安心・安全に、そして鮮度の高い良質のまま消費者に提供することで、「阿波ポーク」の販売拡大および事業の付加価値向上をめざしています。 <p>「阿波ポーク」は、徳島県の推進する阿波畜産ブランドのひとつであり、阿波ポークブランド確立対策協議会が指定する農場において飼育管理マニュアルに基づき生産され、その肉質は、風味があり肉と脂肪の甘み、うま味に優れていると評価されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件の資金を活用して、県内外で直営の飲食店舗網を拡大する予定です。 <p>規格外品や未利用部位の有効活用 地域の農畜産物の販路拡大 地域の雇用拡大</p>

	<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none">・本件に取り組むことにより、当社の付加価値が高まり、業績向上につながることを期待できます。・副次的な効果として、地域の農畜産物の販路拡大、地域の雇用拡大、規格外品や未利用部位の有効活用等の効果が期待できます。
--	---

銀行名	阿波銀行														
タイトル	従来の資本性借入金（DDS）に加えて、保証協会付DDSに取り組んでいます														
取組み内容	<p>< 経緯 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A社は地場産品を中心とした特徴のある食品小売業を営んでいますが、過去の事業における借入金負担があまりに大きく、自助努力のみでは根本的な経営改善が不可能な状況にありました。 ・ 外部コンサルタントを紹介し、事業再生計画を策定する中で、DDSによる金融支援が不可欠となり、プロパー部分にとどまらず保証協会付について、従来の求償権DDSではなく、新たな仕組みである保証付DDSでの支援を検討することとなりました。 ・ 保証付DDSは本県では前例がありませんでしたが、保証協会や中小企業再生支援全国本部の協力を得て、各金融機関の合意に至りました。 <p>< 内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求償権DDSの場合には、保証協会の代位弁済を要することから、再生期間中の保証協会付融資が極めて困難であることや、根抵当権の一部移転による風評リスクの懸念もあり、保証付DDSを選択しました。 ・ 当行・政府系金融機関・保証協会が協調してDDS支援をすることで、他の金融機関も金利引下げ等で支援してもらうことが可能となりました。 <p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A社は、一般消費者に一定の知名度があり、仕入先として地元生産者も多数契約しています。本事業再生によりA社のブランドは維持され、破綻を回避するとともに、多数の地元雇用も確保されました。 ・ 計画に沿って全社一丸となって改善施策に取り組んでおり、計画策定後まだ数ヶ月ながら、既に効果が現れてきています。 <div data-bbox="518 1473 1396 2011" style="text-align: center;"> <p>当行がメイン行として再生支援を主導 → 支援要請 → 再生支援協議会・外部コンサルタント</p> <p>連携して再生を支援</p> <p>実態バランス</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">資産</td> <td style="text-align: center;">負債</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">金融支援</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">適正負債</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">各期のCFに応じて プロラタ返済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↑ 債務超過 ↓</td> <td></td> <td style="text-align: center;">DDS</td> <td style="text-align: center;">… プロパーDDS</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">DDS</td> <td style="text-align: center;">… 協会付 DDS</td> </tr> </table> </div>	資産	負債	金融支援	適正負債	各期のCFに応じて プロラタ返済	↑ 債務超過 ↓		DDS	… プロパーDDS				DDS	… 協会付 DDS
資産	負債	金融支援	適正負債				各期のCFに応じて プロラタ返済								
↑ 債務超過 ↓				DDS	… プロパーDDS										
			DDS	… 協会付 DDS											

銀行名	阿波銀行
タイトル	地元徳島の学術や文化振興に貢献します
取組み内容	<p>徳島県内における優れた学術・文化の振興と発展に貢献することを目的に設立した（公財）阿波銀行学術・文化振興財団を通して、企業や学校等における先進技術の研究開発や、地域文化の発展に結びつく活動に対して助成を行っています。</p> <p>平成 27 年度までの累計の実績は、学術部門 166 件 9,340 万円、文化部門 355 件 6,442 万円、 合計 521 件 1 億 5,782 万円となっています。</p> <p>今後も継続して地元徳島の産業・学術・文化の発展、振興に貢献できるよう努めていきます。</p> <div data-bbox="464 797 1125 1227" data-label="Image"> </div>

銀行名	阿波銀行
タイトル	地域の活性化に取り組んでいます
取組み内容	<p>地元徳島県の豊かな農山漁村地域を次世代に引き継いでいこうとの思いから、徳島県と協働パートナー協定を締結し、農山漁村地域における多様なボランティア活動に参加しています。</p> <p>過疎化が進む地域の方からの依頼のもと、平成26年度は、祖谷地区でのソバやじゃがいもの収穫作業、勝浦「ビッグひなまつり」の準備等を行いました。</p> <p>また、当行役職員による森林保護を目的とした「あわぎんの森」森づくりボランティア活動のほか、アドプトプログラム吉野川をはじめとした県内河川の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

銀行名	阿波銀行
タイトル	青少年の金融教育に取り組んでいます
取組み内容	<p>金融について学び、正しい金銭感覚を身につけてもらうため、徳島県内の小学校で当行職員が教壇に立つ、「あわぎん子ども金融教室」を平成18年から開催しています。</p> <p>また、県内の小中学校で、銀行の役割やビジネスマナーに関する出前授業を随時開催しているほか、徳島大学の「起業力養成講座」へも当行職員を講師として派遣しています。</p> <p>さらに、毎年夏休みには「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」を継続的に実施し、金融や銀行について楽しく学べる機会を提供しています。</p> 